

Q

(福垣内議員)

瀬野川水系の洪水対策について問う。

A

各方面からの調査・検討を行い

有効的な対策を考えていく。(古毛堂建設部長)

A

鶴が沢地区は2級河川熊野川の上流部に当たり、ご指摘の通り豪雨のたびに浸水被害が発生する地区となっている。これは全町的な傾向ではあるが、近年の宅地化が進む中で、農地、特に水田の保水力が低下したことが原因の一つと思われる。

当面の対策としては、被害を最小限に食い止めるために県道側溝の清掃の徹底を県に依頼していくが、根本的には熊野川の断面不足が原因と考えられるので、様々な方面からの調査・検討を行い、有効な計画の策定に務めていく。

Q

平成11年の豪雨は広島県内に大きな被害をもたらし、町内でも床下浸水等多くの被害があった。

近年、瀬野川水系の通称「鶴が沢」が頻繁に洪水に見舞われるようになった。その原因はもともとの低地を宅地化したことと、上流の山林・水田・畑の宅地化が進んだためだと考える。

町内の鶴が沢の洪水対策はどのような方法が考えられるのか。また現在、洪水対策の計画を行っているのか。



大雨で浸かることの多い「鶴が沢地区」

議会審議スケジュール

■専決処分の報告

○専決処分した損害賠償の額の報告について

ほか1件

■条例関連

○熊野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

■補正予算関係

○平成17年度熊野町一般会計補正予算(第1号)について

ほか2件

■その他

○字の区域の変更について

ほか4件

■発議

○防衛庁を「省」に昇格することを求める意見書について

ほか1件

7月臨時会(7/15)

■人事案件

熊野町農業委員会委員の推薦について

(議会推薦者)

南田秀夫／穂土正儀／中村勝義／渡
紘八

議会傍聴にお越しください。

議会は町のお金の使い方や、今後の方針などを話し合うところなので、堅く難しいところと考えがちですが、逆に町民の方々の生活に直接関連する事項が話し合われる、重要な場所でもあります。一度、傍聴に来てみませんか。

特に、議員から町行政へ向けて「一般質問」はシナリオの無いやり取りが聞けるのでオススメです。傍聴席は32席、車椅子をご利用の方にも対応できるように設備を整えています。また、役場庁舎1階ホールのモニターテレビでもご覧いただけます。

議会開会日は、議会だより(2・5・8・11月発行)の裏表紙か、熊野町ホームページにスケジュールを公開しています。まだ議会傍聴をされたことがない方は、ぜひお越しください。

